

名に恥じない面作りを誓う

面打師「玄岳^{げんがく}」を命名

照井 光喜^{こうき}さん



岩崎鬼剣舞の勇壮な踊りに魅せられ、独学で鬼剣舞の面作りに取り組んできた照井さん(61歳・大堤西)は、昨年、定年退職したのを機に、自宅敷地内に「光鬼工房」を開設。その後、照井さんの素掘り面を見て深く感銘を受けた泉徳寺(和賀町岩崎)の哲玄行継住職から「玄岳」の号を授かったことから、面打師として本格的な制作活動を始めました。

照井さんが面作りに取り組んだのは20年ほど前から。基本を学ぶために3年ほど面作り教室に通った後、岩崎鬼剣舞の師匠である小田島初雄さんと知り合い、同鬼剣舞に伝承される面などを借り受けて彫りや塗りを研究したといい、「小田島さんや踊り手の皆さんと交流する中で、踊りや面についていろいろ教えられ大分鍛えられた」と話します。仏の化身といわれる鬼剣舞の面は、桐の木を用い十数種

類のノミを使い分けて、鬼のすこみと仏の優しさを彫り込んでいきます。自作の小刀などを使って顔立ちを整えた後、ヤスリで磨き6回ほどの塗りを重ねて完成。裏面は直接肌に触れるため、さらに神経を集中させ丁寧に仕上げます。その作品は、趣味の域を超えた味わいのある逸品と評判を呼び、市立鬼の館などへの寄贈や日本現代詩歌文学館からの依頼で同文学館賞の正賞として受賞者に贈られています。

す。また、岩崎鬼剣舞や同鬼剣舞の伝承団体などで使われており、「みちのく芸能まつりなどで自分の面を付けて踊っているのを見るのが楽しみです」と、笑みがこぼれます。「玄岳」には、泉徳寺住職の名の一字と「奥行き深く、限りない」との意味が込められており、「自分が納得して人前に出しても恥ずかしくないような面作りを心掛け、名に恥じないよう頑張りたい」と決意を新たに組みます。

国際交流ルーム発



ハロー! まいふれんど ⑬⑧

外国人にやさしい街「きたかみ」とは?

・・・① チュニジア

チュニジア出身のリム・フエキ・ラリビさんは、最近2人目のお子さんを出産し仕事に復帰したばかり。彼女に産後や育児環境の相違点について伺いました。

「日本では出産後5日間の入院期間中に、看護師さんから授乳や沐浴などの指導を受けたことがとても有



リムさんご家族(後列右から夫のアニスさん、リムさん(ともにチュニジア出身)、長女のセリマちゃん(3歳・北上生まれ)、長男のアナスくん(3カ月・チュニジア生まれ))

効でした。また、公共の場所にいつでも利用できる授乳室があるのでおむつ交換や、所によっては電子レンジがあり子どもの食べ物を温めることができ、子育て

中の親が安心して外出できます。チュニジアにはこのような制度や施設はありませんが、産後母親が仕事に復帰して6カ月間は母乳を与えるため毎日1時間の休憩時間があるほか、両親のどちらか一方が仕事をしていなくても公立の保育園に入園できます。育児手当の支給年齢も16歳までです。」

今回は、子育てや職場環境などワークライフバランスを考える良い機会となりました。

国際交流ルーム

電話・ファクス: 63-4497

電子メール: kiah@kitakami.ne.jp

おでんせプラザぐるーぷ3階 生涯学習センター内

開館日: 毎週月-土曜日 午後1時-7時

休館日: 日曜・祝日、第3水曜日、年末年始



中央図書館 ☎ 63-3359 江釣子図書館 ☎ 77-2215 和賀図書館 ☎ 72-2322
中央図書館のホームページ <http://www.library-kitakami.jp/>

《2月の新着本から》

- ▼ 一般書
 パパがつくる産前産後のおいしいごはん みらいたべる
 死ぬ瞬間の5つの後悔 ブロニー・ウェア
 生きざま 貴乃花 光司
 信長影絵 津本 陽
 かわいい自分には旅をさせよ 浅田 次郎
- ▼ 児童書
 ドラえもん のびっくリクイズものはじまり 藤子・F・不二夫／原作
 うごく！電車最強ずかん 学研教育出版
 名探偵コナン推理ファイル 農業と漁業の謎 青山 剛昌／原作
 ほしのはなし 北野 武
 いじわる せな けいこ

《おすすめ新着本》

『暮らしのハーブ150』



主婦の友社／編
主婦の友社

ローズマリーやバジルなど、生活に役立つ150種類のハーブの育て方のほか、ハーブティーや料理など多彩な利用法について紹介。

『サマーウォーズ』



細田 守／原作
角川書店

「夏休み、高校生の健二は憧れの夏希先輩と彼女の田舎に行くことになった。その夜、クイズのような謎の数字のメールが届き、それを解くと…」

《3月のイベント情報》

■おはなし会

3月10日(日)午前11時～11時30分

中央図書館

3月17日(日)午前11時～11時30分

和賀図書館

■こども映画会スペシャル

3月21日(木)午前10時30分～11時30分

中央図書館

3月22日(金)午前10時～11時

江釣子図書館

3月23日(土)午前10時30分～11時30分

和賀図書館

石垣の蕎麦
 今年も恒例の石垣島マラソンが開催され、石垣市を訪問させていただいた。昨年、中山石垣市長からサトウキビの休耕時期に蕎麦を植えてみたというお話聞いていたので、その後どうなったのか伺ってみました。昨年は実がつかず失敗し、今は再チャレンジ中だそう。ぜひ畑を見たいとお願ひし、農家を訪問させていただいた。

畑は10アール程度の広さに三種類の蕎麦を育てていた。すでに花が咲いているが背丈は40センチ程度と低いため、このままだと収穫しづらくなると同行した齊藤雄市議員の感想があった。沖縄本島では蕎麦栽培の実績があり、石垣に適した品種と栽培方法を見つけたいと農家のご夫婦の弁。中山市長によれば、サト

石垣の蕎麦



ウキビは二期作だが、休耕中は畑の土が海へ流れ出やすく、ひどいと貴重なサンゴが死滅してしまう。蕎麦はその対策の一つであり、石垣の新しい名物としても期待しているようだ。JAでは多くの種類の野菜や果物、お惣菜や民芸品が所狭しと並べられていた。昨年、しらくり大使の懇談会などで、北上市の産直は野菜の種類が少なすぎるというご指摘をいただいたことを思い出し、改めてこのことかと思ひ知らされたような気がした。

レセプションでは、石垣市民の皆さんから姉妹都市の締結を望む声が寄せられた。このようなお話をいただくことは本当にうれしいことで、前向きに考えようと中山市長と話した。ただ、行政は市民交流のサポート役であることを忘れないように、あくまでも脇役でいようということになった。10月にはいわて北上マラソンが開催される。石垣市からも多くの皆さんが参加を予定しているとのことである。ぜひ、多方面での活発な交流が行われ、新しい展開に発展できればと期待している。

北上市長 高橋敏孝